

《お願い》

私は07年2月・5月に、TV東京の「ガイアの夜明け」、フジTVの「フジスーパーニュース」に出演した杉崎順子です。化学物質過敏症の患者です。05年6月・8月の近隣の改装が原因で、過敏症になりました。この病気は、日本人の誰もがなりうる病気です。この病気は、地下鉄サリン事件や、毒入りギョーザ事件と同じです。サリンをまかれた車内では、近くの乗客は、皆バタバタ倒れ、遠くの方は助かりました。あの事件と同じように、化学物質を吸った人は、誰でもこの病気にかかるのです。有機リンギョーザを食べた人と、全く同じ症状が出ます。吐き気、頭痛、目まい、意識混濁などの中毒症状です。さらに、心筋梗塞、ケイレン、失明、脳の変形、寝たきりになります。現在、日本の過敏症患者は、大人が70万、子供が30万います。国民の10人に1人が、この予備軍と言われてい

ます。過敏症になった若者が、美容学校や医大を辞めています。希望の職業に就けないだけでなく、働くことすらできないのです。若者が病めば、この国は滅びます。第二の水俣病と恐れられているこの病気に対して、国は何の対策もしていません。この病気が元で、離婚、辞職、破産、そして自殺をする人がたくさんいます。野宿や放浪の末、絶望して命を絶っているのです。更なる悲劇を食い止めるために、次の4つの事を要望します。

皆様、ご理解の上、署名へのご協力よろしくお願いいたします。

《要望書》

国土交通大臣殿

厚生労働大臣殿

神奈川県相模原市 杉崎順子

1、避難所の設置

古い空き公団、地方自治体の団地、廃校等の公共施設を患者に貸していただきたい。

シックハウスの段階で、避難できれば、化学物質過敏症にならずにすみます。

2、化学物質過敏症の難病指定

シックハウスという病名は認められていますが、これが重症化した化学物質過敏症には病名の付与もなく、治療法もないのに、難病指定されていません。

3、リフォームの規制

新築同様の規制を設けていただきたい。リフォーム業者以外が行ったリフォームで、高濃度の白アリ駆除剤の散布、粗悪な塗装によって、近隣の人が発症するケースが後を絶たないため。

4、住宅地における野焼き、農薬散布（除草剤、殺虫剤を含む）の禁止条例の徹底

2003年度より、農林水産省と環境省から通知は出されているが、浸透していない。駐車場、宅地内に有機リンの除草剤がまかれています。条例だけでなく、罰則規定を設けていただきたい。既に東京港区では、農薬によらない環境保全の方向に向かっています。

以上

